

第40号

— 2009.3.31 —

発行 神奈川県青少年指導員連絡協議会
発行者 鈴木勝雄
連絡先 045-210-1111 (内線3851)
印刷 内村印刷株式会社

つばさ

神奈川県青少年指導員だより

活動のはしら

- 1 青少年の体験活動の促進
2 青少年団体の育成と支援
3 青少年に望ましい地域づくり
4 青少年に関する相談と対応
5 青少年に関する調査と情報提供



表彰式

第41回神奈川県青少年指導員大会開催

第41回神奈川県青少年指導員大会が、平成20年11月9日に、横浜市磯子公会堂において、「育てよう豊かな心」というテーマで開催されました。

オープニング

オープニングは、本大会開催地である磯子区・根岸の「スタジオシャリオ」の皆さんによるダンスでスタートしました。

代昭治こども青少年局長代行の挨拶がありました。

開会式表彰式

実行委員長である横浜市青少年指導員連絡協議会の石井一也会長の開会宣言で、式典が始まりました。

講演

今回は、青少年の非行・犯罪防止に取り組んでいるボランティア団体、日本ガーディアン・エンジェルの横濱支部長 坂井清美さん



ガーディアン・エンジェルの実演

後半は高山副支部長から、青少年とのコミュニケーションのとり方について、「コミュニケーションとは会話のキャッチボールである」ということや、「視線を合わせて会話すること」

活動事例発表

最初に、主催者として、鈴木会長、松沢成文神奈川県知事、中田宏横浜市長（屋）

最初に坂井支部長から、ガーディアン・エンジェルの活動の歴史、活動内容についてお話がありました。また、防犯活動の一環として取り組んでいらっしゃる、横濱駅西口のバトリールについてもお話をいただき、パトロール中に出会う青少年の様子や、現在問題となっている出会い喫茶の状況について、青少年への思いを

実際に活動をなさっている皆さんによる講演は、大変分かり易く、明日からの青少年指導員活動の糧となる多くのメッセージをいただきました。

活動事例発表

横濱市の港南区・瀬谷区より、活動事例が発表されました。

港南区こどもフォーラム

子ども達自身がより良い地域づくりのために話し合

表彰を受けた青少年指導員のみなさん

長年にわたって、青少年の健全育成に取り組まれたご尽力に深く感謝するとともに、心からの敬意を表します。

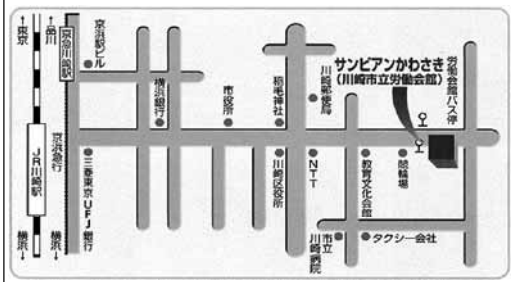
(敬称略)

- 横濱地域: 兼子北村、杉野次郎、関山、湯居、白石、小田、金、大、西、松、清、登、谷、佐、土、泉、原、高、藤、田、川、崎、岩、尾、藤、原、村
湘南地域: 藤原、田、川、崎、岩、尾、藤、原、村
多摩地区: 久我、横須賀、三浦、鎌倉、三浦、横須賀、三浦、鎌倉、三浦、横須賀
相模原市: 相模原市、相模原市、相模原市、相模原市、相模原市、相模原市、相模原市、相模原市、相模原市、相模原市

い、地域で活動を行い、成果を発表しようという方法で、平成10年度より実施しています。
青少年指導員は、子ども達の主体的な活動をサポートする「協力者」という立場で支援を行っています。
例えば、19年度は「公園をきれいにしよう！」をテーマに、ポイ捨てをなくすにはどうしたらいいか、子ども達が真剣に話し合い、公園調査やアンケートを実施しました。
事業への参加をきっかけに、仲間と協力することの大切さを学ぶとともに、主体的に活動ができるようになる子どもも多くなります。
\*せやキッズデイ
18年度より実施している事業で、それまで実施していた「瀬谷子どもまつり」を見直し、より多くの子ども達が、楽しく参加できるように工夫をしながら実施しているものです。
青少年指導員、子ども会、学校、公募区民等で構成する実行委員会を設置し、子ども達の発表の場、交流の場、体験の場づくりに取り組んでいます。
19年度は、子ども達がいきいきとした表情で、和太鼓や合唱の発表や、仕事体験に参加していたほか、当日の運営スタッフとしても子ども達が関わりました。
事業終了後のアンケートでも「楽しかった」「他の体験コーナーにも参加したい」などの意見が多く出されました。
○来年は
来年の大会は、湘南の藤沢市民会館大ホールで、11月1日に行われます。

県民大会が開催されます!

「青少年の健全育成を進める県民大会」が、今年、7月11日(土)12時45分からサンピアンかわさきで、かながわの明日を担う青少年のために～大人の責任、大人の行動～をテーマに開催されます。



# インターネット上の有害情報から 青少年を守るために

## ○インターネットの問題

携帯電話やインターネットは私たちの生活を大変便利なものとなりました。その反面、使い方や利用方法で誤ることにより青少年の間で様々な問題が発生しています。一例として、インターネット上の掲示板に特定の人物を誹謗・中傷する書き込みをする、いわゆる「ネットいじめ」や、わいせつ画像などを供給するサイトへのアクセス、児童買春被害の温床と言われる「出会い系サイト」の利用などがあります。

## ○国や民間の主な取組

国会では、昨年6月にいわゆる「青少年インターネット環境整備法」が成立しました。施行は今年4月1日です。この法律により、青少年の使用する携帯電話には、保護者の不要の申出がない限り、フィルタリングサービスへの加入が義務付けられます。

## ○神奈川県青少年保護育成条例

「神奈川県青少年保護育成条例」では、青少年(18歳未満)が有害情報を閲覧することを防止するため、保護者やインターネットカフェ等の事業者に対して、フィルタリングサービスの活用を努めるよう定めています。県では、このことを県民の皆さまに周知するため、

# 青少年に広がる 大麻問題

## ○大学生など青少年の間で 乱用される大麻

昨年、青少年の薬物乱用、特に大学生による大麻の乱用が大きな社会問題となりました。県内では、若年層(30歳未満)だけで145名(平成20年1～9月神奈川県警察資料)の検挙者が出ており、昨年同時期の82名と比較して、63名(56.6%)の増加となっています。

## ○青少年の薬物乱用を 防止する取組み

ここにきて、各大学においても、学生の自覚に任せただけでなく学内で薬物乱用防止講演会の開催、啓発用ポスターの掲示、大学ホームページを活用した薬物乱用防止の訴えなど、積極

## ○神奈川県教育委員会の 主な取組

神奈川県教育委員会では、調査審議は継続中ですが、2月2日の部会では、青少年が利用する携帯電話対策として、「携帯電話事業者と協働し保護者への啓発を早期に実施すべき」との意見がまとめられました。

## ○神奈川県保健福祉部薬務課

今後とも薬物乱用防止教室及び薬物乱用防止街頭キャンペーンを活動の中心に据え、青少年への薬物乱用防止啓発活動を積極的に推進してまいります。



# 「出会い喫茶」を条 例で規制しました

「出会い喫茶」とは、男性客が、店内にいる女性客を指名して会話し、合意すれば店外に連れ出してデートができるというものです。中には「女性無料のまんが喫茶」と称したり「男性とお茶をするだけでお小遣いゲット」などと女性を積極的

に勧誘し、男性客には女性の指名や連れ出しをそのほかという店もあります。こうした「出会い喫茶」をきっかけとした児童買春等の事件が全国的に多発しています。

県では昨年10月に青少年保護育成条例を改正し、出会い喫茶に対し、青少年を立ち入らせることや、青少年を勧誘することなどを禁止する規制を設け、12月か

また、県の附属機関である「神奈川県児童福祉審議会社会環境部会」(部会長、矢島正見中央大学教授)では、「インターネットが青少年に与える弊害と対策」をテーマに、重点的に協議を行ってまいります。

その検討結果を踏まえ、携帯電話の安全・安心な使用のための指導・啓発資料が掲載された携帯電話サイト「かながわモード」を、昨年11月に開設しました。

また、相談機関の一覧のページもあり、青少年が携帯電話でのトラブルに直面して、保護者にも学校にも相談できずひとり悩んでしまった

ときに、携帯電話から相談機関に電話やメールですぐ相談できるようになっています。このほか、県教育委員会では、青少年の健全育成には周囲の大人たちの見守りが大切との考えから、企業協力による携帯電話教室を県内の学校で引き続き実施するとともに、指導・啓発のためのチラシを青少年や保護者に配付するなど、「あなたとケータイのこと」を心配している大人がいます。

こちらからアクセスできます。  
  
http://www.pref.kanagawa.jp/i/40/4012/02/index.html

また、1月12日の「成人の日」には「薬物クリーンかながわ推進会議」が中心となり、「薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン」を実施しました。(写真)

また、相談機関の一覧のページもあり、青少年が携帯電話でのトラブルに直面して、保護者にも学校にも相談できずひとり悩んでしまった

また、相談機関の一覧のページもあり、青少年が携帯電話でのトラブルに直面して、保護者にも学校にも相談できずひとり悩んでしまった

また、相談機関の一覧のページもあり、青少年が携帯電話でのトラブルに直面して、保護者にも学校にも相談できずひとり悩んでしまった

また、相談機関の一覧のページもあり、青少年が携帯電話でのトラブルに直面して、保護者にも学校にも相談できずひとり悩んでしまった

また、相談機関の一覧のページもあり、青少年が携帯電話でのトラブルに直面して、保護者にも学校にも相談できずひとり悩んでしまった

また、相談機関の一覧のページもあり、青少年が携帯電話でのトラブルに直面して、保護者にも学校にも相談できずひとり悩んでしまった

# ライブ in 山北

山北町青少年指導員協議会

会長 関 勝則

山北の青少年指導員が主催で行っている「ライブ in 山北」も今年度で12回を数えた。主催といっても初回から足柄上地域にある5つの高等学校軽音楽部代表から成る実行委員会制である。言い出しつべの私だが、なぜこのような企画を考えたのか。当時、青指の副会長と町子連の副会長を兼ねていて、子ども会も中学生が会員としていながらその事業が思うように組めない。何か中高生が一堂に会して楽しめるようなものはないかと協議会で思案している時、それ以前に当時の会長とライブの話をしたのを思い出し、もう一度ライブの企画を進めてみようということになった。それには学校の意向を聞いてみなければと私一人、各学校に出向き顧問の先生にそれとなくライブの話をしたところ、どこの学校も「そうした企画があれば生徒たち喜びますよ」「よし、これならできると準備をはじめたのが平成9年の夏頃。しかし青指は先に立つものがない。そこで教育委員会とともに県民部や青少年協会に予算をつけてもらうようお願いし、またスタッフや出演者、

サポートなど100名からのお弁当は出せないのので地元高校のPTAにお願いして昼食を準備していただき第1回が開催できた。



12月14日に開催したライブイン山北



観客も一緒になって盛り上がった

その時、ステージに上がった生徒の言葉が耳に焼きついている。曲の合間にバンド紹介の後、「僕たちは文化祭でしかやったことがない。スポットを浴びプロの器材でやるのは初めてだ。一生懸命がんばります」私、その言葉に鳥肌が立ち、それまで人集めだけに奔走していた口が気がつき、「我々が本当に求めていたのは、上手下手ではなく音楽を通して一生懸命生きている証を主張している。訴えている彼らの、あの姿を見たかっただけなんだ」と。

# 活動ガンバっています!

## 地域活動報告「足柄上」・「川崎」から

### 学校と連携

多摩区青少年指導員連絡協議会

理事 松浦 隆

多摩区は、川崎市の西北端で東京都に隣接し、多摩川の水と多摩丘陵の緑を生かした地域環境の中で青少年は育ち学んでいます。

当会の活動は「地域の青少年は地域で守る」という視点から青少年関係団体、特に地元の小・中学校との連携を深めながら青少年の健全育成に努めています。

そのひとつとして、日常的に実施する巡回パトロールのあり方をテーマに中学校区ごとに小・中学校PT

A校外委員と青少年指導員との情報交換会を年2回開催し、実効性を模索しています。

また、区内7中学校の生徒指導担当教諭と「子どもが置かれている環境や傾向」「学校側の対応」「巡回パトロールの実態」など意見や情報の交換をし、青少年



市立中学校生徒指導担当教諭との意見交換会

への声かけや特性を理解するうえで大変貴重な情報源となっています。

また、大勢の生徒と直接触れ合う機会として秋に行われる中学校の文化祭に地元青少年指導員が出席し、薬物、万引き、喫煙、暴力等々の非行防止、相談案内、活動の啓発などをわかりやすく説明するためパネルの展示やビデオの上映、声をかけながら啓発物の配布を行っています。

このほか体育指導委員や自治組織と連携し青少年の体力づくりと仲間づくりをめざして大運動会やドッジボール大会、ニュースポーツフェスティバルを開催し



青少年スリーオンスリー大会

### あさおわくわくウォークについて

麻生区青少年指導員会

会長 北村 治男

「あさおわくわくウォーク」は、麻生区在住の青少年の健全な育成活動を推進するため、麻生区青少年指導員会が毎年主催する楽しいウォーキング大会で、昨年で24回目の開催となりました。

参加希望者は区内配布の広報紙で募集されますが、若いファミリーや中高年まで幅広いのが特徴です。賞品の新鮮な野菜セットは参加者に評判がよく、毎回参加を楽しみにしている方も

多くいます。

大会コースは、区内に点在する仏閣と公共施設などを組み合わせて事前に検討した後、指導員全員で下見を行います。下見では、コース途中の各種ゲームと、隠し文字当て等を行うための場所を選定します。視界の悪い箇所には、当日指導員を配置し、参加者の安全対策に努めています。

また、参加者が頼りとする



ゲームコーナーで楽しむ

るゴールまでを断片的に表示した「コマ図」は、コース下見の際に指導員自らが作成します。コマ図は参加者がルートを迷わないように配慮し過ぎると、ウォークラリーの醍醐味であるドキドキ感に欠けてしまいます。これらのバランスを踏まえ、た上でのコマ図作成は、指導員の力量が試されます。

近年参加チームが40組200名以上と多く、ゴール後の各チームのイベントポイントと所要時間の得点を合算し、それらを順位付けする作業時間の短縮は、大会運営上の大きな課題でした。

このため、短時間で正確に行えるパソコンでの集計用



優勝チームへ優勝旗を授与

プログラムを私たちが作成し、運営効率化を図りました。

このように、毎年開催される「あさおわくわくウォーク」は、新しいテーマへの取り組みと運営システムの刷新で参加者から好評を得ており、それが指導員にやり甲斐と達成感を生み出しているものと考えています。

# 青少年自立支援レポート

ひきこもり・不登校や非行など青少年の多様な問題へのきめ細やかな対応が必要になっています。県では、青少年センター青少年サポートプラザにおいて、ひきこもり・不登校や非行などの相談や、この問題に取り組むNPOへの支援などを行っています。今回は、警察本部青少年育成課から県立青少年センター青少年サポート課に派遣されて相談や啓発事業を担当されている萩原たま代さんにお話を伺いました。

## 今の自分のできること

萩原たま代

幼かった我が子も成長し、それぞれの道を歩み始めた昨年、私もまた、警察本部青少年育成課から知事部局に派遣され、同時に県立青少年センターの併任となり、現在青少年サポートプラザで勤務しています。

ここでは、ひきこもり・不登校・非行などの悩みをかかえた青少年とその保護者からの電話相談や面接相談を受けるほか、青少年の健全育成に向けた啓発活動等も行っています。

昨年サポートプラザで受理した2,786件の相談の中で、特に印象に残った事例をあげてみます。

① 言葉に傷つき、周囲にサインを出しても気づいてもらえず息苦しさから不登校になった子ども。

② 居場所を求めて深夜にはいかに続ける子どもを心配して涙する親。

③ 5年・10年と自宅にひきこもり、医療機関への受診が必要になってしまった青少年。

④ 家庭内暴力が外部に知れるのを恐れて、嵐が過ぎ去るのを待つ保護者。

警察官として過去に関わった少年たちとは大きく違つてはいても、相談者は一様に悲痛な叫びをあげています。

これらの叫びは実は他人ごとではなく、自分の体験に即してみても「子育てほど難しいものはない」と感じています。共稼ぎだったので、子ども達には随分無理を強いました。こちらの仕事の都合にあわせ朝早くからたたき起こし、多少の熱には目をつぶり登園させるなどなど。子ども達は、なんとか育ててくれました。子育て中は多くの仲間を支えられました。同時に我が子からは、人は、人に認められることが何より重要だということを教えられました。

他人に認められれば他人を大切にする子になり、他人を大切にすればその子も大切にされる。信頼や思いやりなど、目に見えないもののほど大切にしなければならぬことも教えられました。存在とは、ただ息を吐いているのではなく、他人に認められて初めて存在と言えるのではないのでしょうか。

子育てに悩む親を支え、苦しむ子ども・青少年を認めることのできる大人として、今こそが、私自身の経験を社会に還元する時だと思っています。



## こんなイラストほしかった

青少年活動イラスト集  
チラシ・しおりにぴったりの「イラスト集」をCD・Rにしました。お申し込みは県立青少年センター指導者育成課(045-263-4466)まで(無料)

## かもめ通信

### 川崎市

○第5回かわさき楽大師「昭和まつり」 「むかしの遊びワールド」  
平成21年4月18日(土)・19日(日)  
大師公園芝生広場  
こまやめんこ、ビー玉など、昔なつかしの遊びを子ども達に紹介する。  
○6月無灯火自転車指導活動  
平成21年6月10日(木)19時～  
\*雨天中止

川崎区南町交番前  
中央地区青少年指導員会が毎年春・秋年2回実施している無灯火自転車に対する指導活動を6月の定例会開催前に実施する。警察との連携により、チラシやウェットティッシュ等を配布しながら指導活動を行う。

○大師地区工作教室  
7月の第2または第3日曜日  
川崎区役所大師支所  
身近な材料で簡単に作れるものを青少年指導員が小学生を対象に教える。

○子ども遊び広場(高津区民祭)  
平成21年7月26日(日)(予定)  
高津区民祭会場大山街道  
パターゴルフ・ペーゴマ・輪投げ・パネル展示等(予定)

○第44回全中原中学生卓球大会  
平成21年8月2日(日)  
川崎市とどろきアリーナ・サブアリーナ(予定)  
区内公立中学校卓球部に

よるトーナメント方式の卓球大会  
○第30回橘ふるさと祭り  
平成21年8月8日(土)17時30分～20時  
平成21年8月9日(日)9時30分～19時  
川崎市民プラザ  
前夜祭(8月8日)  
ふるさと芸能大会・お楽しみ抽選会・カラオケ大会・子ども広場・ポニー乗馬・小動物ふれあいコーナー・スポーツ広場・福祉バザー・盆踊り大会ほか(8月9日)

○相模原市  
平成21年4月4日(土)・5日(日)  
相模原市役所本庁舎前  
子ども会交歓スポーツレクリエーションフェスティバル  
平成21年5月16日(土)市立淵野辺公園

○厚木市  
平成21年5月24日(日)10時～15時  
厚木中央公園  
昔の遊び道具作り(竹ぼっくり、水てっぽう、かざぐるま等)

○大和市  
平成21年7月18日(土)16時～21時  
大和市の北部(南林間・中央林間)方面を4・6・8キロの3コースに分けて実施します

### 海老名市

○第25回親子ナイトウォークラリー大会  
平成21年7月18日(土)市役所をスタート・ゴールとした市内コース

○野外活動研修会  
平成21年9月5日(土)・6日(日)  
海老名市野外教育施設「富士ふれあいの森」

○綾瀬市  
平成21年7月18日(土)綾瀬市役所周辺

○小田原市  
平成21年7月18日(土)小田原市塔ノ峰青少年の家  
小学5、6年生を対象に、自主性、自立心、協調性、積極性などリーダーとして必要な意識を育て、地域における青少年リーダーの養成を図ります。

○県立清川青少年の家  
(年間を通して、各種の指導者養成事業を実施しています)

○体験活動プログラム研修  
平成21年4月25日(土)日帰り  
○組織キャンプ指導者研修  
平成21年5月23日(土)・24日(日)1泊2日  
○カヌー体験指導者技術研修  
平成21年6月13日(土)・14日(日)1泊2日  
○水辺の自然体験活動指導者

○第25回親子たこあげ大会

平成21年4月29日(水)中野多目的広場

平成21年7月4日(土)日帰り  
平成21年9月5日(土)・6日(日)1泊2日  
(注:日程や内容が変更になることもあります)

## 編集後記

つばさ編集委員

児玉總一郎

「つばさ」第40号をお届けします。

昨春秋以降、アメリカを震源とする金融不安が世界中に波及、世界同時不況を招き、雇用不安が深刻な問題となつてきました。また、弱者を標的とした襲撃事件や、「振り込め詐欺」のような狡猾な犯罪も依然として続いています。

青少年ももちろんこうした社会環境と無縁ではありません。年々進む犯罪の低年齢化が危惧されてもいますが、一方で暗い世相に押し流されずにがんばっている大勢の子ども達がいいます。こういう世の中だからこそ、私たち大人が子ども達を支え、夢を与えなければならぬと思います。

「つばさ」第21期編集委員  
猪俣 武雄 横浜地域  
児玉總一郎 川崎地域  
廣田 和江 湘南地域  
富樫 文衛 県央地域  
露木 清美 担当理事